

2014/7月1日

発行部数 8,075部

かみふら

富岡・甘楽ニュース

第627号

発行所
編集室

山久新聞店

富岡市富岡1405-10

電話 0274-63-7111代

FAX 0274-62-0565

発行人
編集者

佐藤好則

佐藤好則

次回発行予定日 8月1日



水土舍田植え祭り

市内後質の知的障害者通所授産施設「水土舍」を運営する社会福祉法人上州水土舍の水田で21日(土)、「第15回田植え祭り」が行われた。施設利用者や保護者、IHIエアロスベースの有志や家族、一般参加者ら約135人が参加し、手作業で苗代を持ちやすい大きさに分けて持ち、田んぼに入つて田植えが始まると、足が水面か

ら20cm以上埋まるので、慎重にバランスを取りながら歩かないとい、本当に転びそう。参 加した小学生は裸足で田んばに入り「わー、深い。又メメメして気持ち悪い、冷たい、歩きにくい」と、はじめに戸惑っていたが、すぐに慣れ田植えを楽しんでだ。田植えが終わると、利用者たちが作った餅やカレーライスが参加者に振る舞われた。

秋の稻刈りまでは利用者と職員がヒエ抜きや草取りなど田植えを楽しんでだ。稻を手で植えるのは遠い昔のことだが「食物はどう育つかを掴むのは、体を使つた作業」、まさにその言葉の通りだと感した。

田植えが終わると、利用者たちが作った餅やカレーライスが参加者に振る舞われた。稻刈りまでは利用者と職員がヒエ抜きや草取りなど田植えを楽しんでだ。稻を手で植えるのは遠い昔のことだが「食物はどう育つかを掴むのは、体を使つた作業」、まさにその言葉の通りだと感した。

田植えが終わると、利用者たちが作った餅やカレーライスが参加者に振る舞われた。稻刈りまでは利用者と職員がヒエ抜きや草取りなど田植えを楽しんでだ。稻を手で植えるのは遠い昔のことだが「食物はどう育つかを掴むのは、体を使つた作業」、まさにその言葉の通りだと感した。